

2020 年度後期 授業改善アンケート集計結果に対する意見

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 山重芳子

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目の実施対象科目 7 科目中 4 科目についてアンケートが実施されました。授業全体に対する評価である項目 11「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」は 4.51 と高い評価を得ています。これは昨年度とほぼ同じ水準で、遠隔授業による影響が見受けられません。

項目 10 と強い正の相関関係が見られたのは、項目 9「この分野への興味・関心か 引き起こされた」、項目 1「円滑に授業を受けることができた」などで、適切に授業が運営されていると言えます。

用いられた授業手法に関するアンケート結果によると、キャリアセンター開講科目の特徴的な授業形態であるグループワーク(回答率:57.1%)やプレゼンテーション(回答率:51.4%)については回答率に大きな変化がなく、遠隔授業の下でもこれまでの授業手法が継続されていたことがわかりますが、外部講師招聘(回答率:22.9%)については昨年度通りには実施できなかったことが現れています。

授業を通じて身についた資質・能力に関するアンケートからは、「この分野の知識、学力」(回答率: 74.3%)の他に「コミュニケーション能力」(51.4%)、「柔軟な発想力」(48.6%)、「協働力」(51.4%)について、昨年同様高い回答率が得られています。キャリアセンター開講科目が多様な資質・能力を育成するきっかけになっていると考えられます。「課題発見力」、「課題解決力」、「人脈形成力」、「統率力」などについても、大学全体と比較して回答率が高く、リーダーシップや行動を促す授業が行われていると言えるでしょう。

以上